

心のよりどころだったSNS上の知人による誘い出し

～インターネットトラブル事例集より④～

ネットだけの交流では、顔、姿、気持ち、メッセージ、どれも本物かどうかわかりません。それなのになぜ、ネットで知り合った人を信じたり頼りにしたりしてしまうのでしょうか？

ネットで出会った相談相手に会いに行き



※DM=ダイレクトメッセージ、SNSの画面上ではなく、直接メッセージをやりとりすること

辛いことが続き、SNSにつぶやいていたAさん。気持ちが落ち着くメッセージをくれる人に出会い、DMでやりとりするうちに、会いに行くことになりました。

そのまま連絡がつかなくなってしまった



出かけたきり家に帰ってこなくなり、警察に相談。誰にも言わずに会いに行ったことは、AさんのSNSの記録を確認して初めてわかったのです。

考えてみよう！

A. 本当は誰に聞いてほしい？

- ・気持ちを察してくれる友人
- ・じっくり話を聞いてくれる家族
- ・何でも相談したいと思える先生

がいてもネットで相談しますか？身近な誰かに寄りかかりたいと思う気持ちを失わないで！

B. 知らない人の方が便利？

自分を直接知っている人と、ネットだけでやり取りしている人。優しい言葉をかけられて嬉しいのはどっち？ネットなら余計な詮索をされずに済み、都合がいいだけではありませんか？

C. どうしてもSNSを使うなら

本当に親身になってくれる人もいますが、上辺だけの人も山ほど。どうしてもSNSに頼りたいのなら、「深入りはしない」「DMを警戒し、個人的なやり取りはしない」を徹底しましょう。

解説

成長過程で生じる不安定さとリスク志向が利用される危険

多くの子供が SNS を活用し始めるのが、仲間との関係が大事で、かつ、悩みもモヤモヤすることも多い思春期の頃です。感情の行き違いはしばしば起こり、辛さやイラ立ちなど、リアルな生活で受けた精神的ダメージをネットにぶつけることで自分の気持ちをコントロールしようとする人も少なくありません。

でも、そんな心理状態や判断の甘さを知って、近づいてくる危険な大人もいます。ネットの向こう側のいい人が悪い人かもしれないことを知りつつ、リスクよりもそのときの感情を優先させてしまう時期。ネットで知り合った人に深入りしないよう、自分で「ここまで！」というルールをしっかりと決めておきましょう。

<参考> ・総務省「インターネットトラブル事例集（2018年度版）」 P25

http://www.soumu.go.jp/main_content/000590558.pdf

本メールに関して御質問、お問い合わせがある場合は下記まで御連絡ください。

【担当】福井県安全環境部県民安全課 角田

☎:0776-20-0745（直通） メール：h-kakuda-um@pref.fukui.lg.jp